

校 報

ましみず

3月号
掛合小学校
平成21年3月発行

校歌の作詞者 山根繁樹先生から

子どもたちへのメッセージ

卒業式の時に斉唱する校歌について指導するた
めに、作詞者である国立松江工業高等専門学校
山根繁樹先生に、音楽担当の田浪教諭が校歌にこ
められた思いをお尋ねしたところ、先生から子ど
もたちに次のようなメッセージが届きました。

山根先生に、このメッセージを校報で紹介した
いと、お許しをいただくための手紙を差し上げた
ところ、掲載してもよいという旨の丁寧なお返事
を折り返しいただきましたので紹介します。下段
の横書きのメッセージは、ウェブメールからの複
写です。

掛合小学校校歌

一 坂道をのぼれば まっすぐに 空に伸びる樹
みあげれば 雲はすぐそこ
緑に抱かれた この里で

樹の 樹のように 世界を呼吸する
わたしたち 微笑みあえる
それが それがよろこび

二 山脈ははるかに どこまでも 空わたる風
みおろせば 川面は光る
水清らかな この里で

風 風わたる 世界とともにある
わたしたち 手をとりあって
明日を 明日を夢見る

はじめまして。掛合小学校の校歌を作詞させてもらった山根繁樹といいます。

掛合小学校校歌には、1番にも2番にも、「この里」という言葉が出てきます。これは、もちろん今小学校が
建っている掛合も指していますが、それだけではありません。みなさんは、旧波多小、旧多根小、旧入間小、
旧掛合小、旧松笠小、それぞれの校区であつたおうちから今の掛合小に通つておられるはずで、すなわち、
みなさんが毎日見ておられる景色は、小学校を中心としたみんなが同じように見ている景色から、何人かの友
達と見ている旧〇〇小のまわりの景色、そして、それぞれがおうちを出たときおうちに帰るときに見る、その人
だけが知っている景色まで、いろいろです。その、すべての景色が「この里」に含まれています。

そして、「里」というのは、そこに人がいるという意味を含んだ言葉です。ですから、みなさんのおうちのか
たはもちろん、ご近所のかた、それから、お話ししたことのないかたや、会ったこともないかたも含めて、み
なさんを見守り、みなさんの成長を願っている「人がいる」場所が、「この里」なのです。

校歌の歌詞にはみなさんが見たり感じたりするであろう景色が書かれています。それは、同じ地域でみな
さんと一緒に生きる人たちのいる「この里」の景色なのだと感じながら歌ってくれれば嬉しです。
そして、1番も2番も、後半では、小学校でいろんなことを学んでいくみなさんの姿をイメージしています。
小学校では、ただ勉強するだけでなく、からだもこころもいろいろなものを吸収し、大きくなっていきます。
そうやって成長していくみなさんにある無限の可能性や、みなさんがこれから生き続ける「世界」とのかかわ
りを思い描いてくれればと思います。「世界」という言葉には、人間の世界だけでなく、大地や空といった自然、
そこに生きる動物や植物、そしてそれらのつながりという意味も込めたつもりです。

1番も2番も、「わたしたち」以降には、願いを込めました。みなさんは、一人ひとりが大切な存在です。た
だそこにいて微笑みあつたり、手をとりあつたりできる、それだけで、つまりは、そこにいるというだけで貴
重な存在なのです。自分という存在を大切に、そして自分のそばにいる人の存在も大切にしてほしいと思っ
ています。掛合小学校という場所が、そんな大切に思いあえる人の集まる場所であつてほしいと願っています。

学校それぞれに校歌はありますが、なかには、学校をたたえる歌詞の校歌もあります。ですが、掛合小の校
歌は、掛合小で過ごすみなさんを励ましたたえる校歌にしたいと思いました。この歌を校歌として歌えるのは、
掛合小で過ごすみなさんしかいません。この歌はみなさんの歌です。掛合小という場所で過ごす仲間の歌です。
元気よく、いつまでも歌ってください。

山根繁樹 Shigeki Yamane



まさに、「この里」
一人一人の子どもが
思い浮かべる自分の
景色としての里、同
じ地域で一緒に生き
る人たちのいる里」
が、実現できたこの
一年でした。

六年生を送る会

卒業する六年生へのお祝いと感謝の気持ちを伝える「六年生を送る会」が、三月四日水曜日に五年の企画・立案で行われました。統合して最初の会は、心温まる素敵な会になりました。

五年生によるはじめのあいさつで始まり、ゲーム「じゃんけん列車」で全校の子どもたちが和やかに交流しました。

各学年の出し物では、二年生が劇で六年生にお世話になったことを発表し、三年生は合唱で「キセキ」を六年生へのメッセージに変えて歌い、四年生はクイズで六年生との思い出をみんなで楽しみました。

スライドショーでは、六年生の思い出の写真が五年生のナレーションにあわせてスクリーンに映されました。五つの旧小学校の入学当時から思い出をみんなで観ました。初めて観る写真も多く、子どもたちは熱心に見入っていました。

プレゼント渡しでは、一年生が六年生と一緒に撮った写真で飾ったメダルをプレゼントしました。

続々くす玉割りでは、六年生全員がステージに上がり、代表が紐を引くと、五年生がつくつくくす玉が見事に割れ、「ありがとう六年生」の垂れ幕と一緒に紙ふぶきが舞い落ちました。

六年生も合奏とメッセージを贈り、在校生の感謝の気持ちに伝えました。合奏では「ラバーズコンチェルト」を、担任の松井先生の名指揮のもと演奏しました。



1年生は、お世話になった6年生のおにいさん、おねえさんに手作りのメダルをプレゼント。首にかけてあげました。

最後は、在校生が手をあわせてつくったアーチの中を、六年生が一人ずつくぐり抜けて退場し、およそ九十分の会は、温かい雰囲気の中で終わりました。

統合初年度の不安も多いなか、一年間しっかりとリードした六年生のがんばりと、五年生を中心とした在校生の新年度へ向けた頼もしさが感じられたひとときでした。

児童の感想文・日記から
三年 高尾拓海

三月四日に「六年生を送る会」がありました。ぼくがおもしろかったことは四つあります。一つ目はじゃんけん列車です。じゃんけん列車は、どんどん長くなって

おもしろかったです。二つ目は、学年の出し物で、さいしよは二年生でした。(中略) いつもさいごには「イエス ウィー キャン」と言っていたから面白かったです。つぎは三年生でした。きんちょうしたけど、うまくできてよかったです。きつと六年生さんはよろこんでくれたと思います。(中略) 六年生の「ラバーズコンチェルト」はすごくいい曲でした。ぼくのぞむ気持ちもがんばってできました。「キセキ」もじょうずに歌えてよかったです。来年もがんばりたいし、六年生とおかわれするのはさみしいです。

五年 石飛文香

今日の五、六時間目に六年生を送る会がありました。

送る会では、入、退場はいろんな人に手伝ってもらいました。それからアーチ作りやCDのことが大変でした。でも、六年生さんに送る会のテーマの「いい思い出を作ってもらおう」感謝の気持ちを伝える」ということができましたと思います。それに一番良かったのは、

クラス全員で協力しあって会を成功させることができたことです。



これからも、みんなで仲良く、協力し合うクラスにしたいです。それと六年生になったら、下級生たちを引っ張っていきなりつばな六年生になりたいです。

弁当の日

雲南市には、「ふるさと雲南への誇りと将来への夢や希望をもち、すすんで社会貢献していこうとする、心豊かな子どもの育成」を目標とする雲南市キャリア教育構想がありま

第六学年家庭科での取組み

家庭科主任 飯国久美子

六年生家庭科の「一食分の食事を考えよう」の単元で弁当をとりあげました。各班で弁当を作る計画をた

かになつたり、栄養のバランスを考えていたつもりでも、緑色がほとんどない弁当になったり、予想以上の時間がかかったりといろいろでし

の家庭科で、弁当に合うリンゴやサンドイッチなどを作りました。



つくった弁当は家に持ち帰り、家の人にも食べてもらいました。これらの反省を生かして、家庭でも協力してもら

家族からのアドバイスから

・ほうれん草とベーコンのソテーはバターが味がしつかりしておいしいです。(中略) 全体的にうす味

(松村研大さんの家の方)

・色どりの野菜があればもっと良かったと思います。初めて子どもが作った弁当を食べた。天下第一品の味で



写真：グループで協力し、分担しながらお弁当につめるおかずを作る6年生。

りました。ごちそうさまでした。(藤原秀光さんの家の方)

調理実習「弁当づくり」の感想・反省から

・ちゃんと作れてよかったです。でも量が多かったので、たくさん余って大変でした。他には計画したベー

弁当の日の感想から

藤原美優

・早起きして弁当を作ったとてもねむくて、手つきが危ないところがあ

落合健斗

・一応僕も手伝いましたが、レタスをちぎるくらいしか出来ませんでした。僕が弁当をつめました。味も良かったです。次は出来れば自分で(全部)作りた

岩本和希

開校記念マジックショー

定番「オリブの首飾り」のバックミュージックが流れる中、次々と繰り出される長い丸太棒や花やスカーフ。「ヘー。」「ウワー。」などの驚きの喚声か体育館に響きました。

三月十一日(水)の業間(二校時と三校時の間の長めの休憩時間)に、全校集会として集まった子どもたちの前で、華麗なマジックを繰り広げられるのは、小林和彦さん(木次町在住)。昨年の三月、大東小学校長を最後に教職を退かれましたが、市内の各施設等を回って得意のマジックを披露しておられます。年度末ぎりぎりのところで、掛合小学校に来て



抜き取ったトランプの図柄を新聞紙の切り抜きで当てるマジックに、あれ?!

いただくことができました。今年一年間頑張ってきた子どもたちへのご褒美になったのであれば嬉しく思います。ちなみに、小林さんは「うんなん元気っ子 わくわく教室」で「ミラクル☆マジック教室」を開いておられます。

春! 元気に遊ぶ子どもたち

啓蟄を過ぎて、日差しも春らしくなってきました。天気の良い昼休みには、校庭に出て遊ぶ元気な子ども姿が多くなってきました。



写真右下 グローブをはめて、壁当てキャッチボールをしている1年生。

卒業まで あと一週間

今週から全校による卒業式の歌の練習も始まりました。残すところ一

週間になりました。

卒業を控えた六年生は、三学期に入ってから「文集制作」「校舎ピカピカ大作戦」「感謝の気持ちを表そう」の三つのグループに分かれて、卒業前の諸活動を企画し、全員で実行するという取組みをしています。

「感謝の気持ちを表そう」グループが企画した、下級生と縦割り集団で遊ぶという催しがあったり、「校舎ピカピカ大作戦」グループの企画で、六年生全員が清掃作業をしたりと、卒業を前にして学校のために頑張っています。「校舎ピカピカ大作戦」では、あらかじめ教職員にアンケート調査をし、それをもとにして場所や内容を決めるといふ進め方をしました。随所に最高学年としての姿が見られます。



渡り廊下の目地の汚れを落としています。

第二回PTA総会

三月十一日(水)、午後七時からランチルームで行われました。平成二十年度事業報告、平成二十年度会計執行状況報告、新年度役員報告などが行われました。これをもって本年度のPTA活動は、ほぼ終了したことになります。後は、会計処理と監査会です。

昨年の四月一日午後七時から行われた第一回理事会からおよそ一年。開校に伴って創立された本PTAは、藤原会長様を中心に役員(理事、監事、運営委員、学年委員)の皆様のご尽力、及び会員の皆様のご協力により各事業も順調に行われ、その目的を十分に達成されたと考えます。

ここに敬意と感謝の意を捧げたいと存じます。ありがとうございます。

総会に先立って、雲南警察署掛合広域交番の松山所長様から、「犯罪をよそごとと考えないで、車や家の施錠をしっかり」と。「警察への提言などで安全な環境づくりが進むのでどしどしご意見を。」「携帯電話のトラブルや振り込め詐欺に注意。」などの、具体的なお話がありました。資料、文書等にお目通しを願います。